

人にやさしい まちづくり



白石市長
風間 康静

新年明けまして

おめでとーうございます

市民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

私は昨年、皆様の温かいご支援を受け、第十四代白石市長として市政を担うこととなり、その重責を感じながら日々努力しております。

現在、三位一体改革により地方分権が一層進展する反面、財政環境は厳しい状況を迎えるものと思われ、本市のみならず社会全体が大きな変革の時を迎えております。

災害が日本列島を襲い、今なお多くの人々が避難生活を強いられております。幸いにも、本市では大きな被害もない状況でしたが、近い将来高い確率で発生するであろうと予想されている宮城県沖地震に対する対策を、早急に進めていかなければなりません。

そのために、防災意識の啓発を図ると同時に、水害および地震による人的被害を最小限に抑えるため、各地区の避難場所などを明記したハザードマップを作成し、本年中に市民の皆様にお配りしたいと考えております。

また、災害発生による緊急避難対策として、毛布や飲料水などの防災備品を、年次計画により整備してまいります。

そのほか、都市計画道路沖の沢郡山線の整備、越河地区の農業集落排水整



▲ふれあいプラザ2階のプレイルーム「やんちゃっこ」

そのような中、これからの本市のまちづくりの方向性として、市民の皆様と行政が共に考え、共に汗を流しながら喜びを分かち合える「共汗」のまちづくり、次世代を担う子どもたちを地域が一丸となって共に育み、生涯学習の一層の推進による生きがいを持つことのできる「共学」のまちづくり、そして、小さな子どもからお年寄り、あるいは障害を持つ人であっても、誰もが安全に安心して地域の中で共に生きていける「共生」のまちづくりをキーワードとして、「市民総参加によるふさと共創」を目指してまいります。

そのために、市民の皆様の柔軟な発想による地域の個性と資源を生かした、独創性のある地域づくりを進めるための支援策としまして「地域コミュニティ育成事業」（愛称・やる気応援事業）を創設し、現在、地域活性化のため一生懸命努力している市民の方々と連携を深めるとともに、まちづくりのための人材育成を進めてまいります。

また、各地区の個性を伸ばしながら地域の活性化を図るために、まちづくりや、福祉の充実と医療との連携強化による市民の健康寿命の延伸など、長期的な視点に立った事業についても継続実施してまいります。

これらの事業を適正な財政運営を維持しながら実施していくためにも、経常経費の削減や計画的な人件費の抑制など、第三次行政改革を的確に進め、先人たちが築き上げた白石を後世の世代にさらに誇れる「ふるさと」として引き継ぐため、市民のための人にやさしい行政を目指し、「こころ豊かなふるさと白石」の実現に向け、まい進してまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年も、皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



▲昨年6月12日に実施した白石市総合防災訓練



▲市民の皆さんと作り上げた市制施行50周年記念事業（4万人市民の森づくり事業）

り協議会などが進める特色ある事業に対する支援のため「白石市きらめき推進事業」を創設し、世代間交流を促進することにより、地区住民のきずなを深め、大人が経験から学んだ知識と知恵を子どもたちに伝え、誰もが生きがいを持って楽しく暮らせる地域社会の創造を図ってまいります。

次に、安心して子どもを産み、育むことのできる環境整備を充実させるため、子育て支援のための組織を再編することで、子どもと親の視点に立ち、子育て支援ニーズの多様化に柔軟に対応し、トータルなサービスを提供できるよう努めてまいりますとともに、子育てと仕事の両立支援の観点から、延長保育などについても今後検討を進めてまいります。

昨年は、台風と新潟中越地震による



白石市議会議長
鈴木 康弘

市民の皆様、
明けましておめでとーうございます

新春を迎えるにあたり皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、日ごろから市議会に対し温かいご理解と絶大なご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は市制施行五十周年の年であり、市民オペラ「ラ・ボエーム」をはじめ、NHKのど自慢、市民の森づくりと市の内外に発信でき、有意義な年でなかつたらうかと思えます。

また、特別委員会においては、新白石大橋ならびに都市計画道路「沖の沢郡山線」の事業推進について要望などを重ね、三月にはようやく着工の運びとなり、着実に進んでおります。

さらに、地方分権の一つとしての白石市・蔵王町任意合併協議会においては、合併調査特別委員会を立ち上げた矢先に、合併協議会解散の話が飛び込み、寝耳に水で、今後の白石の発展を大きく左右するもので住民の判断を

新年
の
ごあいさつ



前に終了したことは残念でなりません。また、議員として前回に引き続き特別職および議員の給料や報酬の減額など、住民の理解と市政発展に尽くしてまいります。

我が国の経済状況は依然として低迷を続けております。これら打開のため政府は、構造改革に着手し、三位一体の改革により地方交付税の見直し、各種補助金の削減がすでに実施され、交付税、補助金の減額が余儀なくされていきます。

このような時こそ、市民の力を得て、総力を挙げ、知恵を出し合い対応する必要があるとします。一方、議会としては、新市長の誕生もあり、議員各位の英知をさらに結集し、環境、医療、福祉、産業などの分野において、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに努めるとともに、開かれた議会に向けた議会改革などを図るため、特別委員会を立ち上げ、議員一同決意を新たにしてまいります。

市民の皆様におかれましては、今後とも格別なご指導とご鞭撻を賜りますとともに、平成十七年が皆様にとりまして幸福な年であり、年頭のごあいさつを申し上げます。